

公益財団法人豊橋文化振興財団情報誌

2014年3月—4月

プラット ニュース

vol. 6



TOYOHASHI
ARTS
THEATRE
PLAT



2月28日—3月2日
PLATアートスペース

『失望のむこうがわ』



——そして、 再び言葉が生まれ、 力となる。

2011年『罪』『ゆすり』、12年『家の内臓』、そしてPLATプロデュースによる13年の『父よ!』と、作・演出に若手を迎えて小劇場演劇を着実に豊橋に根付かせてきた芸術文化アドバイザー・平田 満。その平田が今年も若手の三浦大輔作・演出で『失望のむこうがわ』をお贈りします。06年に岸田國士戯曲賞を受賞した『愛の渦』をはじめ、実験的で衝撃的な作品を次々と発表し続けてきた三浦と、お馴染み平田と井上加奈子がどんな化学反応を起こすか。鼎談は、その期待を、早くも大きく膨らませてくれました。

撮影:谷古宇正彦

三浦大輔 [作・演出] × 平田 満 × 井上加奈子

司会 中島晴美 [芸術文化プロデューサー]

—— そもそも、三浦さんが作・演出をなさるきっかけは。

三浦●平田さんと井上さんが自分の芝居を観に来てくれていることは聞いていたんですけど、僕はまだ若いし、お2人はすごく経験のある方ですから、距離があるというか、接点はあまりないのかなと思っていました。そんなとき、平田さんが「一緒にやらないか」と声をかけてくれて、嬉しかったですね。

平田●若い人たちからの情報で、拝見するようになって、ただ、僕は、自分のなかでは多分、なにか流れがあると思うんですけど、これの次はこの方向をと、秩序だてているわけではなくて、『父よ!』の次にどういう人とどういうものを? と考えたら、三浦さん以外にはありえなかった。

井上●私も、『ゆすり』の作・演出をしてくださった青木豪さんに、「三浦さんが主宰

するポツドールがすごく面白い」と言われて、さっそく観に行つて。観ていると、本当にのめりこむんですよ。正直、セックスや暴力が多く出てきて引くこともあって、「当分、観ないでおこう」と思うのに、次の公演があると、やっぱり観たくなる。

—— 確かに、三浦さんの作品は『妻せめ』とか『身体検査』など、衝撃的なタイトルが多く、「セックスとバイオレンス」と言われ

ています。

三浦●言われていましたね。若い頃はなんか惹きつけるようなタイトルを考えていたってこともありますけど。ただ、そこをテーマにした人たちはほかにもいると思うんです。僕の場合、生々しく、オブラートに包まないでやっていたので、そこへの抵抗感もあってスキャンダラスな印象が先行していったということなんですけど。

井上●でも、昨年2月に、この出演者募集も兼ねた三浦さんのワークショップがあって、私たちもちょっと入って経験させていただいて、今までと違う世界だなんて。夫婦のことを非常にリアルにやるということなので、私自身も心情的に一枚脱ぐというか、こう、突っ込んで、裸にならないといけないという気がしています。

三浦●お2人は実際に夫婦だからやりづらいかなという気持ちはあったんですけど、あえてそこに突っ込もうかなと思ったんですね。ただ、それは、今僕が一番やりたいことの延長線上にあって、正直、そのタイミングで声がかかったんですよ。だから、プロデュース公演ということあまり考えずに、取り組んでいます。

始まりは、いつも「アンチ自分」

——それは、チラシの『『何かいい感じ』もくそもないのだ。踏ん張って踏ん張って、死にもの狂いで、言葉を紡ぎだすしかない』という言葉に繋がりますか。

三浦●そうですね。今、空気感だったり、なんでしょう、言葉ではなく匂いというか、そういう雰囲気伝える芝居が高貴だっという価値観が蔓延しているような気がして。僕もそうだったんですよ。『夢の城』は完全に無言劇だったし、むしろ、それを信じてやっていたんですけど。

平田●それで、ドイツやベルギー、オーストリア、カナダなど海外で公演して、評価を得ている。

三浦●そうなんですけど、なんか、その、公演ごとに新しいことはやりたいというか。だいたい、今まで自分がやってきたことのアンチから入るんですよ。そうした



ら、イメージが湧いてきて、いけるかなって思ったんです。

平田●僕たちが声をかけた頃だよ。昨年7月に東京芸術劇場でやったつかこうへいさんの『ストリップパー物語』の演出が決まったのは。

三浦●平田さんはつかさんの口立て芝居をやっていたらしゃるし、つかさんづいてるといったら変ですけど、ちょうどその連続になっていて。だからって、つかさんの作風に影響されたということはないんですけど、ただ、あの膨大なひとり語り、一人の人が喋って見せる言葉の力っていうか、演劇表現における言葉っていうものに、僕なりの新しい力を提示したい。ちょっとカッコつけた言い方ですが、そういうことを今、やりたいんですよ。

平田●三浦さんの戯曲集を読むと、ト書きがとて多くて映画のシナリオ的だった。

三浦●そうなんです。僕の芝居自体が、人間の些細な感情の揺れとか、「そんなとこまで？」っていうところまで描くので、映像的と言われる。確かに、舞台はお客さんとの距離感もあるので伝わりづらいところもあるとは思いますが、目の前で役者がやっているわけですから、そういう細かい演出は、より芝居に向いているんじゃないかと思うんです。怒りとか喜びとか、感情の大きな点みみたいなものをただつなぐのではなくて、その隙間のちょっとした揺れとかを掬い取って、そこを教えるお客さまに楽しんでもらうというか。いろいろな演劇を観ていて、そういうのを省略しすぎだなど。その隙間が面白いのに、どうして大きな感情から別々の大きな感情にいきなり飛んじやうのになっちゃうんです。

どんな人でも 善と悪が揺れている

——昨年11月には『愛の渦』をフランスでツアー公演をして、絶賛を得ました。『失望のむこうがわ』もオファーがあったら、行きますか？

三浦●それ、すごくいいなと思っているんですけどね、僕は。

平田●これは「言葉の力」で、動きは少ないけど、三浦さんはすごくリアルに若者を描いてきていて、逆に言えば、変に観念的なところがない。舞台上で起こっていることは言葉が違っても伝わるんじゃないかな。普通に人間、まあ、愚かな普通の人間が多いけど、人間の営みとしてわかるところがたくさんある。

三浦●僕が一番嫌うのは、わかりやすい善人だったり悪人だったり、そういう記号的な役を出すことなんです。でも、どんな人でも善と悪が揺れている。そんな善人悪人、いるのかな？ って、思っちゃうんですよ。『失望のむこうがわ』は、そこで揺れている人が失望した先に何があるかってことを描きたくて、そのまんまのタイトルですけど。

平田●海外の前に、豊橋です(笑)。今まで4本上演してきましたけど、今までに観たこともない舞台だということには自信があります。

井上●やっぱり、そこですね。今までと全然違う味わいを楽しんでいただけるんじゃないかと思っています。



【みうら・だいすけ】1975年生まれ。早稲田大学演劇倶楽部を母体として、96年12月、演劇ユニット「ポツドール」を結成。以降、全本公演の脚本・演出をつとめる。裏風俗店に集う若い男女のリアルな会話を描いた『愛の渦』(05年)で第50回岸田國士戯曲賞受賞。主な作品に、ポツドール『顔よ』(08年)、『夢の城』(06年、12年)、PARCOプロデュース『裏切りの街』作・演出(10年)、ホリプロプロデュース公演『THE SHAPE OF THINGS』演出(11年)、つかこうへい『ストリップパー物語』構成・演出(13年)などがある。自身が監督を務めた、映画『愛の渦』が2014年3月1日公開予定。

チケット発売中

とよはし演劇工房

『失望のむこうがわ』

●作・演出＝三浦大輔 [ポツドール]

●出演＝平田 満 / 井上加奈子

平原テツ [ハイバイ]

●日時＝2月28日 [金] 19:00開演

3月1日 [土] 14:00開演

3月2日 [日] 14:00開演

※3月1日 [土] 14:00終演後ポストトークあり

●会場＝PLATアートスペース

●料金＝[全席自由・整理番号付き]

一般3,600円



真実の言葉として語りたい

3月21日 PLAT主ホール 『おそろべき親たち』

中嶋朋子^[マドレーヌ] & 満島真之介^[ミシェル]

信じられる言葉が一つでもあれば、
飛び込める

2014年、PLATが贈る主ホール最初の演劇が、この『おそろべき親たち』。2010年にジャン・コクトーの傑作を甦らせて話題を呼んだのと同じ顔合わせに、早くも期待が集まっています。今回は、複雑な恋人同士、マドレーヌとミシェルを演じる中嶋朋子さんと満島真之介さんのメッセージをお届けします。

撮影:谷古宇正彦

—— 2010年に同じキャスト、同じ役で出演されました。複雑な役ですよね。

中嶋●最初にぱっと脚本を読んだときは「なんだ、これは?」って。三面記事のような話しか飛び込んでこない。大人たちの心の動きは面白いけど、若いマドレーヌはカットしたっていいぐらいのキャラクターだな、とも思った。ただ、私は、最初の感触と出来上がったものとの間にいつもすごく差があるので、考えすぎるとロクなことはない(笑)。役の中で、信じられる言葉が一つでもあれば飛び込める。逆に、信じられない言葉が一つでもあったら飛び込まない。いつも、それだけなんです。そして、何よりもこのキャスト! 演出も熊林さんだし。同じ時間に同じ場にいられるのであれば、と飛び込んだら、とても大変でした(笑)。

—— では、信じられる言葉があった。

中嶋●今回は、自分の役の言葉というより、“親たち”の言葉に魅了された所は大

きいです。あと、マドレーヌは二重生活というか二面性があって、その全部を嘘偽りの、そういうキャラクターで作れることのできるけれど、どっちも本当だって。彼女の存在自体嘘がないというふうに作れると思った。どっちでも本当のことを一生懸命言っている彼女の言葉を、真実として語りたいたい欲求が生まれた感じ。

—— 二面性は、登場人物全員が持っているように思います。

中嶋●ええ。たとえばレオという女性も、「自分は正しい」とは言えない葛藤のなかにいる。レオって一番明確な役のはずなのに一番明確でない感じが魅力的。で、自分という人生を手に余っていて、まったく手綱を取れていないようなのに、芯はしっかりと人生を生きているような、多面性というのかな。イヴオンヌという役にしても、単純なひと色ではない。そんな感じが人間の魅力としてすくいあげられていて、それが、この作品が皆に愛される理由かなって。



「なかじま・ともこ」女優。東京都生まれ。国民的テレビドラマと呼ばれた『北の国から』で22年の長きにわたり蜚役を務める。以後、映画、舞台へも活躍の場を広げ、実力派として高い評価を得る。他に、朗読、執筆、講演でも独特の感性を発揮。根強いファンを持つ。

あのととき、大人になることに初めてワクワクした



[みつしましんのすけ] 1989年、沖縄県生まれ。2010年、舞台『おそろべき親たち』で俳優デビュー。12年公開の映画『11.25自決の日〜三島由紀夫と若者たち』では、報知映画賞新人賞をはじめ、数々の賞を受賞。出演作にNHK『梅ちゃん先生』『紙の月』など多数。

心の奥を鷲掴みにされる体験。それが舞台の醍醐味

—— ジャン・コクトーはフランスの作家です。「おそろべき」というタイトルは、日本の感覚では、親たちの何がそんなに恐るべきなのよ？ と、なかなかつけられません。

中嶋●私は、これまで「将来やりたい役は？」ときかれても一切なくて、「こういう俳優になりたい」もないし、先のことはわからないしと思うタイプだったんだけど、この作品に出会っていつかレオとイヴォヌをやってみたい、両方やりたいって思えた。大人はすべてをわかりきった存在で、上から教えるみたいな感じが、日本には道徳的に根付いている。それを、大人って完成品じゃないよなってあっけらかんと言っているのは、フランス文化のすごいところだし、コクトーのすごいところでもあると思います。ただ、日本に受け入れられないってことはないです。前回、私の知り合いが地方からたくさん観に来てくれたんですが、おじいちゃんおばあちゃんが大笑して、楽しんで楽しんで、で、ちょっと衝撃を受けて帰っていった。すごく嬉しかった。高尚なものを作ればいいってわけじゃないじゃないですか。ちゃんと人間が心を揺さぶられる——泣いても笑ってもなんでもいいの。心の奥のところを鷲掴みにされる経験をどれだけ共有できるか、っていうのが舞台の醍醐味だから、それができたのは一番の喜びだった。たとえばファンタジーであっても、すごく深いところにタッチできれば、共感できる。なにか被膜みたいなもので「素敵でしょ？」って覆わなくてもね。みんながぶつかり合って、総毛立つぐらい醜悪な部分もあるのに、素敵だなど思えるように作れたと思います。

—— 最後に、今回の上演を楽しみにしているお客さまに一言。

中嶋●前と同じことをもう一回やれと言われてたら、できない。だから、「もう一回」でなくていいならやる」と言っておひきうけしました。一番の変化は前回初舞台だった満島君のなかにあるだろうし、そこが変わればすべては変わります。だから、私たちが一番ワクワク、ドキドキしながら楽しみにしている作品でもあるんです。きっと皆さんが、同じ時間や体験を共有する感覚になれる“体感型舞台”となるはずですよ。“おフランスのお芝居”なんて思わずに、楽しむ気満々でお越しく下さいという感じですね。

—— 満島さんご自身に何か変化はありますか？

満島●あれは、僕の最初の舞台でした。だから、役がどうか、どう演じるとかというより、生きているすべてをぶつけている、生活のすべてがここにある感じでした。そのあと、テレビや映画の仕事やほかの演劇に携わってきて、あのとときに関わっていた人や自分の役がどれだけすごいかがちょっとずつわかるようになってきた。当時は、周りの人に言われてはいたんですけど、測るものがなかったの、「これが当たり前なんだ」というか、そんな感じでした。

ただ、沖縄から出てきて何年間か違う仕事もやってきて、あのととき、俳優として、というより人としてこんなにも素敵な方たちがいるんだって気づかされました。21歳の終わりごろでしたけど、これから大人になっていくことに、初めてワクワクしたんです。「もう一度この役をやるんだろうな」というのが体のどこかにあって、そこまで自分がどういうふう生きていられるのかってことばかり考えていました。

新たな化学反応が起きる予感がする

—— 中嶋さんが「マドレーヌの言葉を真実として語りた」と言ってらっしゃいましたが、一緒にやっていて何か感じましたか。

満島●皆さん、言葉が真実で入ってくるんですよ、僕のなかに。少しでも嘘に聞こえたら、素人同然で何も知らない僕は、拒否すると思うんです。「あー、嘘言ってるな」と。だから、マドレーヌの言葉が真実であればあるほど、ミシェルはもっと苦しくなる。そういう一つひとつが紡がれてきたのだと思います。

去年のはじめ、『祈りと怪物〜ウィルヴィルの三姉妹〜』で中嶋さんと共演したんですよ。舞台上では台詞を交わすシーンがなくて、それも不思議でした。あんなにも密に関わっていたのに、違うところで出会うと、同じ場所にいるのに全然違う人物を生きているというのが、新たな感覚で、そ

れぞれの存在はそれぞれに在るんだと気が付いたんです。

—— 今、PLATの交流スクエアに皆さんのインタビュー映像が流れています。

満島●あれなんですよ！あの取材でコメントするときに、「あ、もう一度やるんだ」として実感が体に入ってきたんです。それまでは、本当にすごく怖かった。不安で不安で、なんか現実にあっけなくほしくないような怖さがあった。同時に、あの舞台がもう一度あったら幸せだろうなっていう思いもあったのが、ふっと体のなかに全部入ってきて、そこから台本をまた読み返したりすると、まったく別のものに読めるというか。自分の頭が、心が、体が違う感覚をくれるんです。だから今、本当にワクワクしているんですよ。あのとときの原点の気持ちと、今のこの自分の状態をもう一度皆さんに受け止めてほしいって。新たな化学反応が起きる予感が、すごくしています。

[聞き手=芸術文化プロデューサー 中島晴美]

『おそろべき親たち』

- 作=ジャン・コクトー ● 翻訳・台本=木内宏昌 ● 演出=熊林弘高
- 出演=佐藤オリエ/中嶋朋子/満島真之介/中嶋しゅう/麻実れい
- 日時=3月21日[金・祝]14:00開演 ● 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] S席6,000円/1Fバルコニー席5,000円/A席4,000円

チケット発売中



PLATは、「初めて」がどんどん生まれる実験劇場

昨年、PLATオープニング記念式典でグロトリアンとスタインウェイ2台のピアノを演奏して、私たちを魅了してくれた小曽根真さん。その小曽根さんの一周年記念コンサートの企画が進行しています。果たして何が起きるか。繰り返されるPLATと小曽根さんの会議。その一部を紙上ライブでお届けします。

撮影:谷古宇正彦

中島●去年は、本当に素晴らしいものにしていただいて。今やもう、語り草になっています。あのあとすぐでしたよね。一周年コンサートの話が出たのは。

小曽根●ありがとうございます。そうなんです、今回は昼夜2回公演のお話をいただいています!企画として面白く、僕も楽しみにしています。ただ、ちょっと、現在予定している時間配分が聴く側としてはきついんじゃないかなと心配しているのですが…。

中島●今のところ4時から8時、休憩時間1時間30分を考えていますけど。

小曽根●だったら、大丈夫かな…。

平田●昼は2時とか3時から、というのも考えられます。

小曽根●それは、まったく違うお客さんになるパターンですよ。

平田●両方という方には通し券という方法もありますし。

中島●開演を2時と6時とすると、合間が2時間半ぐらい。でも、入出場の時間を考えれば、実質的に1時間半ぐらい。

小曽根●いったん、そのぐらい音楽から離れていただければ、両方を聴くにしてもフレッシュな気持ちで入っていただけますよね。

生きているモーツァルトが迫ってくる

中島●じゃあ、2時と6時の方向で。昼はカルテットとうかがっていますが、昔ながらのお友だち?

小曽根●もうね、このコンサートをやるべくして出会ったみたいな感じなんです!昨年の8月に広島交響楽団と平和祈念コンサートに出演した際に、コンサートマスターの高橋和貴君と初めて会ったのですが、すごく意気投合して。それで、PLATのコンサートの企画を考えた際に、「高橋君だ!」と思ってすぐ連絡を入れたんです。カルテットのメンバーは、ヴァイオリンとチェロはハンガリー、ヴィオラは韓国の出身で、現在は全員ウィーンに住んでいるのですが、ぜひ日本に来て共演したいと言ってくれました。

あらためて彼らのCDを聴いたら、もう、素晴らしくって。モーツァルトの音楽って、クラシック界では「正解の演奏」っていう型があるらしいのですが、彼らの音楽は色っぽいですよ。すごく艶っぽくて音色もきれいで、なんて言うんだろうな、生きているモーツァルトなんです!

中島●じゃあ、その方たちと小曽根さんの共演はPLATが初めて?

小曽根●そうです。ちなみに、去年の「ピアノ2台」の企画も僕にとって初めてだったんですよ。あのとき、正直、「なんて無茶を」って思ったんですけど(笑)。

中島●すみません。

小曽根●いやいや。企画を聞いて、じゃあ、どうしたらいいんだろうと考えたら、あの方法しかなかったのですが、30分という枠があったおかげで凝縮したプログラムが出来ました。もしも1時間の枠だったら、お客さんは「もういいから、ちゃんと1台で聴かせてくれ!」っていう気持ちになってしまったと思うんですよ。だから、自分にとってもとてもいいチャンスだったし、何より主ホールがものすごくクリエイティブな空間だった。それにスタッフの皆さんも本当にすばらしくて、土壇場で急に「2台を向い合せに!」と言ったらすぐに対応して下さって、反響板も出してくれた。終わった後のスタッフさんの笑顔に、「ああ、ここにいることに命をかけている人たちなんだな」と感じました。

【おぞねまこと】1983年パーカーリー音楽大学ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年カーネギーホールにてリサイタルを開き、米CBSと日本人初のレコード専属契約を結びアルバム「OZONE」で全世界デビュー。2003年バートンとのデュオ「ヴェーチュオーシ」がグラミー賞ノミネート。近年はクラシックにも取組み国内外の主要オーケストラと共演。また、演劇や映画音楽の作曲等、多彩な才能を発揮し国内外の舞台で活躍中。国立音楽大学教授。

だから、このホールで弾けるのは、舞台を愛していればいるほど、恵まれたことだと思うんです。もちろんそれは、お客様も含めて。それで、ここでしかできないものは、ここから発信していけるのはなんだろうって、すごく考えたんですよ。

中島●そこから、モーツァルトをしっかりと聴くっていう。

平田●いいですね。

小曾根●型破りだと思いますよ、彼らのモーツァルト！共演するのはピアノ協奏曲第12番を予定しています。普段はオーケストラでやるものですが、モーツァルトは自分でも演奏したくて、室内楽用（小編成用）にも譜面を書いているんですよ。

僕はまだこの12番は弾いたことがないんです。豊橋で生まれて初めて弾きます！なので、ちょっとドキドキしています。

出演者もスタッフも観客も、みんな運命共同体

中島●私たちにとってもすごく幸せなことです。初めてのことをさせていただいて。

小曾根●創造活動室を見たときも、「ここはいいな」って。実験的なことをいっぱいできそうな空間だと思いました。建物そのものが、それを願っているような気がしたんですよ。

中島●じゃあ、2部はどんなイメージになりそうですか。

小曾根●そこが、実はまだ、僕のなかで固まっていないんです。ひょっとするとまた、コンサートまでに何か出会いがあるんじゃないかという気もしていて。

中島●できれば、2日前ぐらいから入られて、こう合宿みたいなことができれば。

平田●僕も、去年『父よ!』の合宿稽古をPLATで2週間やって、すごくよかった。

小曾根●やっぱり稽古って、その時間がちゃんと積み重なって本番に出てきますよね。僕はそれを、クラシックをやっている初めて感じましたね。ジャズはテーマだけで、そこから作っていくのですが、クラシックは弾いていくうちに——それこそ演劇は、台詞を覚えて読んでいくうちに入ってきて台詞を話して、「ああ、こういうことだったんだ」って、いろいろな発見が出てくるんだろうと思うんですけど、クラシックも稽古するうちに「ああ、そういうことだったんだ」って気付く事が多いんです。

平田●僕は、音楽は本当に門外漢でおこがましいんですけど、ある新聞社の取材を受けたときに、音楽と演劇の相性はすごく良くて、ファンが重なっていると聞きました。演劇と音楽と美術は、全部重なるんですって。

小曾根●そうですね。いつも学生に「音楽は言葉だ」って教えています。言葉ってメロディーですから。もちろん、言葉そのものの意味はあるのですが、それとは別に旋律がある。おそらくそこで音楽と繋がるんじゃないでしょうか。

僕は、平田さんとぜひなにか一緒に、お邪魔しないように芝居の音楽を出来たらいいなと考えています。

平田●嬉しいなあ。PLATでなにか生まれる、新しいことが起こる、そういう活き活きた空間にもっともってほしいんです。

小曾根●劇場って、実は特別な場所ではないんですよ。もっともっと日常のなかにあるべき場所だって、僕はPLATで感じたんです。もちろん、クオリティーの高いものが大切です。だけどそれは、マニアとかじゃなきゃわからないものではない。そうやってしまったら、芸術の意味がないと思うんです。僕は、井上ひさしさんの『組曲虐殺』の音楽

をやらせていただいています。井上さんがよく言ってらしたんです。「劇場ってものは、今までまったく知らなかった人たちが一つの演目を観に集まってきて、出演者もスタッフもお客さんも、作品を通して心を通わせあう運命共同体だ」って。そしてまた、それぞれの場所に戻って生活をする、そのエネルギーを得る場所だ、というような話をね。PLATは、そういう、すごくお客さんに近い劇場なんじゃないかと思います。来たお客さんも作る片棒を担ぐわけですよね？

平田●お客さんがメインですよ。小曾根●そういうエネルギーがどんどん溜まっていて、素敵なホールになるんですよ。

中島●そうなんです。本当に。まだ種を蒔いている最中ですけど、また来たい、行きたいっていう劇場になれば幸せです。今日は、お話が聞けてよかった。ありがとうございました。

撮影：谷古宇正彦

PLAT一周年記念
『小曾根真コンサート
it's OZONE TIME
～クラシック×ジャズ2つの顔～』

- 出演＝【クラシックプログラム】小曾根真、モーツァルトハウス・ウィーン弦楽四重奏団【ジャズプログラム】小曾根真
- 日時＝4月5日【土】
【クラシックプログラム】14:00開演
【ジャズプログラム】18:00開演
- 会場＝PLAT主ホール
- 料金＝【全席指定】S席5,000円
A席3,600円
クラシック&ジャズ通し券(S席)9,000円
- チケット販売＝会員先行2月8日【土】
一般発売2月16日【日】



2/9 SUN

好評発売中

PICK UP!

ケイリン福祉コンサート

『読売日本交響楽団演奏会』

～オール・チャイコフスキー・プログラム～

- 出演＝松尾葉子[指揮]／松山冨花[ヴァイオリン]
- 読売日本交響楽団[管弦楽]
- 曲目＝歌劇「エフゲニー・オネーギン」よりポロネーズ／ヴァイオリン協奏曲二長調作品35／交響曲第5番ホ短調作品64
- 日時＝2月9日[日] 14:30開演
- 会場＝ライフポートとよはし コンサートホール
- 料金＝[全席指定] S席:4,500円／A席:3,000円
- ユースチケットS席:2,200円／A席:1,500円※枚数限定・24歳以下対象



©読売日本交響楽団

きつと、どこかで聴いたことがある、このメロディー。

日本を代表するオーケストラ、「読売日本交響楽団」がいよいよ豊橋にやってきます！指揮は、小澤征爾に次いで日本人史上二人目のフランス・ブザンソン・国際指揮者コンクール優勝という快挙を成し遂げた松尾葉子さん、ソリストに若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール第2位受賞の才気ほとばしる若手ヴァイオリニスト松山冨花さんを招いての演奏会です。

楽曲を通して、時代を感じてほしい。 松尾葉子

チャイコフスキーは大好きな作曲家です。当時の壮大なロシアのイメージや、華やかな宮廷、舞踏会のイメージを忘れずに指揮しています。演奏会にいらして下さったお客様が幸せなひと時だったと思っていただけるように指揮させていただきます。

2/28 FRI — 3/2 SUN

好評発売中

とよはし演劇工房『失望のむこうがわ』

- 作・演出＝三浦大輔[ポツドール]
 - 出演＝平田 満／井上加奈子／平原テツ[ハイバイ]
 - 日時＝2月28日[金] 19:00開演／3月1日[土] 14:00開演
 - 3月2日[日] 14:00開演 ※3月1日[土] 14:00終演後ポストトークあり
 - 会場＝PLATアートスペース
 - 料金＝[全席自由・整理番号付き] 一般3,600円
- 豊橋市出身で俳優の平田満と、女優の井上加奈子が、作品ごとに個性的な若手劇作家を迎え濃密な人間関係を描いてきた演劇ユニット「アル☆カンパニー」。次作は、過激な作風で海外からも注目を集める三浦大輔の作・演出で時代を切り取る。

3/21 FRI

好評発売中

PICK UP!

『おそろべき親たち』

- 作＝ジャン・コクトー ● 翻訳・台本＝木内宏昌
- 演出＝熊林弘高
- 出演＝佐藤オリエ／中嶋朋子／満島真之介
- 中嶋しゅう／麻実れい
- 日時＝3月21日[金・祝] 14:00開演
- 会場＝PLAT 主ホール
- 料金＝[全席指定] S席:6,000円
- 1Fバルコニー席:5,000円／A席:4,000円

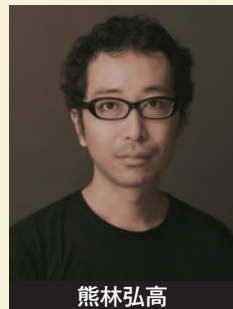


ジャン・コクトー没後50年。圧倒的な顔ぶれで蘇る。

20世紀前半に詩や小説、戯曲、映画、絵画など多くの分野で活動したフランスの芸術家・ジャン・コクトー。1938年にフランスで初演され、1948年に映画化もされた『おそろべき親たち』が豪華俳優陣で蘇ります。演出は毎日芸術賞千田是也賞を受賞するなど各方面から高い評価を受けて一気にメジャーシーンへ駆け上がった熊林弘高。彼ならではの緻密かつ色気に満ちた大人の芝居にご期待ください。

「答えがない」、そんな作品に惹かれて 熊林弘高

『おそろべき親たち』には、「こんな作品」と一言では言えない、いろいろなものが内包されている。ダイヤモンドの光じゃないけど、こっちから光をあてるとこっちに反射するというのが無数にある。登場人物の一人ひとりの心の動きもそうで、「ここは白だから」「ここは黒だから」ではなく、常にいろんなものを抱えている。そういう人たちが5人いて、まるで底なし沼のようで、決して、「うわー、楽しかったね」と言いながら劇場を後にする作品ではないかもしれません。でも、なにか心の中にポツと石を投げられた感じで、波紋が広がる。そんなものを心に残す芝居だったらいいなと思います。



熊林弘高

【くまばやし・ひろたか】福岡県出身。高校卒業後に上京し、1997年tptに入社後、デヴィッド・ルヴォー、ロバート・アラン・アッカーマンら、世界の一流級の演出家に才能を見出され演出家デビュー。2002年、ストリンドベリの「火あそび」を皮切りに、2004年「かもめ」、2005年「桜の園」と続いたチーフホフ劇や、2006年エウリピデス「BAKXAI（バクカイ）」、2008年マリヴォー「いざかい」で見せた、緻密で丁寧な古典作品の作り込みが身上。2010年「おそろべき親たち」の演出により毎日芸術賞千田是也賞を受賞。2012年tpt退社後フリーの演出家として、2013年10月、L'Équipe（レキップ） vol.1「秋のソナタ」、2014年1月「TRIBES」、そして2014年版「おそろべき親たち」と手がけている。

チケットの購入・お問合せは

プラットチケットセンター [会員先行・一般発売]

- Web = <http://toyohashi-at.jp>
ホームページから24時間いつでも予約可能です。
※プラットフレンズへの登録が必要です。
 - Tel = 0532 (39) 3090
 - 窓口 = 穂の国とよはし芸術劇場 1F
Tickets & Informationカウンター
- 受付時間 [Tel・窓口] 10:00~19:00 (休館日をのぞく)

U24・高校生以下 割引のご案内

- 若い人にこそ生の舞台を楽しんでもらいたいから、ほぼすべての豊橋文化振興財団主催公演に割引料金を設定しています。
- 料金 = U24 [24歳以下対象]: 公演ごとに指定する席種の半額
高校生以下: 一律 1,000円
 - 購入方法 = 各公演の一般発売初日から窓口にて取扱い。
※一部公演により発売開始日や発売方法が異なります。
 - その他 = 本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。
座席の指定はできません。要・入場時身分証明書提示。

PLATダンストーク&レクチャー2

好評受付中

レクチャー『激動のダンス百年史』 トーク『いまこそ、舞踏の魅力』

コンテンポラリー・ダンスの伝道師、乗越たかおによるトーク&レクチャーの第二回は、ゲストに日本を代表する舞踏カンパニー・大駱駝艦の舞踏手で、海外でも活躍中の田村一行さんをお招きし、ダンス史をやさしく解説しながら、ダンサーの魅力に迫ります。

- 講師 = 乗越たかお [作家・ヤサぐれ舞踊評論家]
- ゲスト = 田村一行 [大駱駝艦]
- 日時 = 3月8日 [土] 15:00 - 18:00
- 会場 = PLAT創造活動室A ● 参加料 = 無料
- 定員 = 50名 [先着順] ※定員に満たない場合は当日参加も可
- 締切 = 3月5日 [水] ● 対象 = 年齢不問。どなたでも。
- 申込方法 = プラットチケットセンター

電話のみ Tel: 0532 (39) 3090

[のりこしたかお] 06年にNYジャパン・ソサエティの招聘で滞米研究。07年イタリア「ジャポネ・ダンツァ」で日本側ディレクターを務め、以降、世界20か国以上を訪れて審査員やアドバイザーとして活躍する。著書に「コンテンポラリー・ダンス徹底ガイドHYPER」(作品社)、「どうせダンスなんか観ないんだろ!? 激録コンテンポラリー・ダンス」(NTT出版)、「ダンス・バイブル コンテンポラリー・ダンス誕生の秘密を探る」(河出書房新社)他多数。また月刊「シアターガイド」誌等で連載中。



乗越たかお

[たむら-いっこう] 1998年大駱駝艦に入艦。舞踏家俳優である厩赤兒に師事。02年より大駱駝艦のスタジオ「壺中天」にて、自らの振付演出作品の創作を開始。緻密な振付で構成する作品には、新たな舞踏の可能性が注目されている。08年文化庁新進芸術家海外留学制度により、フランスを拠点に活躍する振付家、ジョセフ・ナジの下へ留学。小野寺修二、宮本亜門、白井晃、渡辺えり演出作品への客演も多数。舞踏の特性を活かしたワークショップは、子供から高齢者、高校・大学、各分野のアーティストまで幅広く好評を得ている。1月31日(金)~2月9日(日)新作公演「又」@大駱駝艦スタジオ「壺中天」3月16日(日)ハートフルホール(豊川市御津文化会館)にて「風が吹いたんだい」の上演が決定している。



田村一行

©松田純一

受付開始 = 2月16日 [日]

館内を歩きます。階段の上り下りがありますので動きやすい服装・靴でご参加下さい。

PLAT劇場ツアー

- 日時 = 3月2日 [日] 10:00 ● 会場 = PLAT主ホール 他
- 参加料 = 500円 ● 定員 = 各回30名 [先着順]
- 申込方法 = プラットチケットセンター

電話のみ Tel: 0532 (39) 3090

※今後も随時開催してまいります。日程等は本誌や劇場HPなどでご案内いたします。

受付開始 = 2月16日 [日]

グロトリアンを弾いてみよう

グロトリアンピアノの響きを体験できる機会を設けました。大切に扱ってくれる方ならお子様でもかまいません。

- 日時 = 3月7日 [金] 10:00 - 20:00 ● 会場 = PLAT創造活動室A
- 参加料 = 1時間あたり1,000円 ● 対象 = ピアノ演奏ができる方
- 募集人数 = 毎時00分から1時間単位で最大2時間まで
- 申込方法 = プラットチケットセンター

電話のみ Tel: 0532 (39) 3090

※今後も随時開催してまいります。日程等は本誌や劇場HPなどでご案内いたします。

PLAT一周年記念事業

4/5 SAT

会員先行 = 2月8日 [土] 一般発売 = 2月16日 [日]

PLAT一周年記念

『小曽根真コンサート it's OZONE TIME

~クラシック×ジャズ2つの顔~

- 出演 = [クラシックプログラム] 小曽根真 / モーツァルトハウス・ウィーン弦楽四重奏団 [ジャズプログラム] 小曽根真
- 日時 = 4月5日 [土] [クラシックプログラム] 14:00開演 [ジャズプログラム] 18:00開演 ● 会場 = PLAT主ホール
- 料金 = [全席指定] S席5,000円 / A席3,600円
クラシック&ジャズ通し券 (S席) 9,000円

※通し券はプラットチケットセンター [窓口・電話] のみ

物語るクラシック! 躍動するジャズ!

プラットオープニング式典で二台のピアノを同時に、自在に操ってみせた小曽根真がお贈りする、クラシックとジャズ二つの顔で魅せる豊橋だけの特別プログラム。一台のピアノが生み出す音楽のマジックをお楽しみください。穂の国の春は、小曽根真がつれてきます。



小曽根真

©篠山紀信

4/20 SUN

※会員先行・一般発売初日はお一人様1申込につき2枚まで。

会員先行 = 2月15日 [土] 一般発売 = 2月22日 [土]

PLAT一周年記念『立川志の輔独演会』

今年も“志の輔らくご”が豊橋にやってきます。昨年の「高座開き」に引き続き、大人気落語家・立川志の輔師匠による独演会を開催します。創作、古典、と志の輔の“喋り”をたっぷりと堪能してください。

- 日時 = 4月20日 [日] 13:30開演
- 会場 = PLAT主ホール
- 料金 = [全席指定] 一般4,000円



立川志の輔

大道芸の広場で、劇場で、 PLATがかけた みんなが「つながる一歩」になる魔法



12月21日の『劇場へ行こう!』で、同じ白の衣装に個性を演出したカラフルな輪、ラストにどーんと登場したクリスマスツリー。お気づきの方も多いと思いますが、これ、どちらも『大道芸 in とよはし』で子どもたちを夢中にさせた「つながる一歩」です。色は6色、大きさは5種類。輪の両側にはファスナーがあって、互いにくっつけるだけでさまざまな形が出来上がります。

「生みの親」は子どもたち?

もともとは2008年、当時は東京藝術大学建築科大学院生だった制作者の松原正佳さ



んが「藝大の学生が街をミュージアムにする」という「上野タウンアートミュージアム」に出品したのが始まりです。「街の人が楽しめる柔らかい建築みたいなものを作ろう、一つひとつは小さいのに繋げれば大きなオブジェになるような。それで人が繋がったり離れたりするうたかたのような縁を表現しようと思った」と、松原さん。ところが、いざ広場に「つながる一歩」を置いてみると、子どもたちが集まってきて遊び始めた。「丸い輪っかのなかにただ入って秘密基地のような居場所にしたり、思う形にファスナーを繋げようと延々と取り組んだり。それが面白くて、いろんな街に持っていくようになった」と話します。

一人ひとりが「つながる一歩」になる魔法

『大道芸 in とよはし』を経て『劇場へ行こう!』で松原さんが目指したのは、「アートのかつ遊具的な、微妙な何か」。その意味では、ステージを飾った「つながる一歩」は、誕生の際に立ち現われた表現行動が一つの形に昇華したといえそうです。

ところで、2013年の最後を飾ったこの『劇場へ行こう!』は、宮川彬良さんをはじめとする音楽家たち、構成・演出の田尾下哲さん、さらに絵描きの下田昌克さんによるアニメ、照明の沢田祐二さん、振付の三輪亜希子さんなど、さまざまなアーティストの表現がぶつかりあいコラボし、アマチュアのPLATオリジナル合唱団と響きあって、一つの不思議な小宇宙を創りだしてくれました。終了後に劇場を包んだ余韻。それは、もしかしたら、観客も制作者もステージ上の合唱団もみんな、一つひとつの「つながる一歩」にする魔法だったのかもしれない。



松原正佳
[まつばらまさよし]
1985年愛知県生まれ。2009年東京藝術大学大学院建築専攻修士課程修了後、六角鬼文計画工房で建築に携わる傍ら「つながる一歩」を展開する。第3回キッズデザイン賞受賞。



芸術文化アドバイザー

第4回

平田 満のちよこつとエッセイ

「リトルダンサー」



「リトルダンサー」という映画があります。舞台化もされています。貧しい炭鉱町でボクシングをいやいや習っていた男の子が、女の子ばかりのバレエ教室に入り、ダンサーの才能に目覚めてゆくお話です。

私は映画、舞台のどちらも見ましたが、セクシュアリティの問題や炭鉱スト、家族の葛藤などもまじえ、踊ることと人間への愛情に満ちた素晴らしい作品だと思いました。中傷や反対にもめげずに、好きで好きでたまらないダンスに打ち込む少年の姿に、胸が熱

くなりました。

育った環境がどうであっても、いろんな障害があっても、自分らしく生きられる幸せ…。人間の根本的な欲求でしょう。生きている、という実感を持てるのはとても幸せなことです。子どもたちが心から喜びを感じられるものを持ち、周囲がそれを理解してやれるような世の中になってほしいと願います。そして、二年目を迎えるプラットが、その可能性やよろこびを発見する場になれば、と願っています。今年もプラットをよろしく!

<p>〒440-0862 愛知県豊橋市山田町一丁目九番地 白井琢也公認会計士事務所 http://www.shirai-cpa.com 電話 0532-5712630</p>	<p>本の豊川堂 カルミア店 五五〇一六八八番 アピタ店 五五〇一八〇〇番 ピタ店 五五〇一六三三番</p>	<p>代表取締役 竹尾 誠 株式会社 竹尾建築設計事務所 豊橋事務所 / 豊橋市平川町91-2 〒440-0035 Phone: 0532-62-1331 (代) Fax: 0532-62-1332 浜松事務所 / 浜松市東区流通元町13 〒433-0007 Phone: 053-422-3628 (代)</p>	<p>外科・内科・胃腸科・麻酔科・消化器科・呼吸器科 伊藤 藤 医院 豊橋市小池町字原下三十五 電話四五二八三番代</p>	<p>看板広告 アラキスタヂオ 豊橋市上伝馬町十六 電話 〇五五八六番</p>	<p>医療法人 慈 豊会 大島整形外科クリニック 東田町井原三九の七 (市電赤坂口駅直結) 院長 大島 照夫 電話 六二二一〇五番</p>	<p>医療法人 赤岩 病 院 院長 赤岩 病 院 電話 六二二一〇五番</p>	<p>YMバレエ カンパニー ハロートウ 21 8610 電話 六二二一〇五番</p>	<p>有限会社 魚 伊 電話 52-5256</p> <p>本と文具なら 精文館書店 TEL.54-2345</p>
---	--	--	--	---	--	---	--	--

<p>竹内産婦人科 産婦人科 婦人科 (不妊治療) 豊橋市新本町 23 豊橋 竹内産婦人科 検索 Q</p>	<p>氷各種販売 / 冷蔵倉庫業 大正冷蔵 本社 豊橋市湊町 1 17 TEL: 0532-52-1161 FAX: 0532-52-8015</p>	<p>山本製粉株式会社 ホンポッ ラーメン なつかしの味 つくしの味</p>	<p>写楽集団・クラブ KAIHO KOTARO 海藤 大島 照夫 NORI-G 倫理 大島 照夫 GUCCHI 環境 大島 照夫 TAKEDA 広報 大島 照夫 photo</p>	<p>株式会社 谷山建築設計事務所 豊橋市西羽田町一八三 http://taniyama-archi.com</p>	<p>調理と製菓のおいしい資格。 豊橋調理製菓専門学校 豊橋市八町通一丁目五十二 TEL 五三二八〇九</p>	<p>グロトリアンピアノ地域特約店 白羽楽器株式会社 電話 0531-46413015</p>
<p>ONOCOM 株式会社オノコム</p>	<p>三河の滋味 創業明治七年 つくだ煮 梅香園</p>	<p>SUBARU スバル東愛知販売(株)</p>	<p>空録 稲荷亭 空録 豊橋店 電話 0532-311133</p>	<p>創業文政年間 美坂 さく宗 豊橋市新本町40 電話52-5473番</p>	<p>天之美祿 なりの花でん コリアフロント ホテルアクリッシュエー</p>	<p>豊橋名産 みちあわ</p>

<p>気まぐれコンサート 事務局 / 0532-62-9259 (小川恵司)</p>	<p>am.1000~pm.5:00 るる 茶屋 甘味処 抹茶・コーヒー あんみつ・豆かんてん 中岩田5丁目6の4 TEL.63-0202</p>	<p>天板 田中屋</p>	<p>プラスワンの付加価値をお客様に提供いたします。 共和印刷株式会社 豊橋市小池町36番地の1 TEL 46132881 FAX 46132885</p>	<p>整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科 医療法人 大岩整形外科・皮フ科 院長 大岩 俊久 豊橋市大橋通二丁目二五 電話 五五二一〇〇</p>	<p>伝統的工芸品豊橋華 書道用品専門店 高誠堂 豊橋市呉服町四拾四番地 電話 五二一五五一</p>	<p>創業文政年間 美坂 さく宗 豊橋市新本町40 電話52-5473番</p>	<p>天之美祿 なりの花でん コリアフロント ホテルアクリッシュエー</p>	<p>豊橋名産 みちあわ</p>
--	---	---------------------------	---	--	---	---	---	------------------------------

プラットフォーム募集中 [入会金・年会費無料]

お得な3つの特典

- 特典 1 公演情報をメールでご案内します。
- 特典 2 インターネットでチケット予約ができます。
- 特典 3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。

登録方法


- WEBで登録 [穂の国とよはし芸術劇場HP] <http://toyohashi-at.jp>
- 携帯で登録 <https://piagettii.e-get.jp/online-ticket/de/>
- 窓口で登録

穂の国とよはし芸術劇場 Tickets & Information カウンター

チケット購入案内

- ◆プラットフォームセンター [会員先行・一般発売]
 Web=<http://toyohashi-at.jp> ※プラットフォームへの登録が必要です。
 Tel=0532(39)3090
 窓口=穂の国とよはし芸術劇場1F
 Tickets & Information カウンター
 受付時間 [Tel・窓口] 10:00~19:00 (休館日をのぞく)
- ◆その他 [一般発売・公演によって販売所は異なります]
 チケットぴあ / カルミア2Fサービスセンター
 ほの国百貨店6Fプレイガイド など

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT
 〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
 Tel=0532(39)8810 [代表] <http://toyohashi-at.jp>
 開館時間=9:00~22:00 休館日=第三月曜・祝日の場合は翌日・年末年始。
 豊橋駅 (JR東海道新幹線・東海道本線・名古屋鉄道)、新豊橋駅 (豊橋鉄道渥美線) 直結。豊橋駅南口から徒歩3分。 ※駐車場はありません。公共交通機関、お近くの公共駐車場等をご利用下さい。



PLAT CALENDAR

3 MARCH

- 1 SAT 学校法人桜丘学園 桜丘高等学校ダンス部自主公演 PLAT主ホール
- 1 SAT - 2 SUN とよはし演劇工房『失望のむこうがわ』 PLATアートスペース
- 2 SUN 茶道クラブ月例茶会〔南坊流〕 三の丸会館
宗偏吉田流和有茶会 臨濟寺
- 6 THU 裏千家六日会月釜 三の丸会館
- 8 SAT 社会福祉法人岩崎学園創立60周年記念式典 PLAT主ホール
- 8 SAT - 9 SUN 東三河演劇ネットワーク第2回プロデュース公演『朱雀家の滅亡』 PLATアートスペース
- 9 SUN 国際ソロプチミスト豊橋ポート 岡崎混声合唱団・岡崎高校コーラス部～豊橋公演～ PLAT主ホール
第6回オオミナオバレエスタジオ発表会 アイブラザ豊橋
裏千家静和会月釜 三の丸会館
- 14 FRI 株式会社ミラクルワールド「食育・予防医学講演会」 PLAT主ホール
NPO法人三河三座 能の体験教室 PLAT創造活動室A
- 15 SAT - 16 SUN 桜丘学園吹奏楽部第27回定期演奏会 アイブラザ豊橋
- 16 SUN 豊橋素人歌舞伎保存会定期公演 PLAT主ホール
不朽流前期一吟会 PLATアートスペース
- 21 FRI 豊橋おやこ劇場中高生例会 人形劇団むすび座「The Wish List」 PLATアートスペース
『おそろべき親たち』 PLAT主ホール
- 22 SAT バロックコンサート PLATアートスペース
- 23 SUN 高倉学園創立90周年記念 豊橋中央高等学校吹奏楽部 第16回定期演奏会 PLAT主ホール
第17回つながりあそび・うた実技研修会「ゆずりんとあそぼう! きみにエールを!」 PLATアートスペース
- 24 MON - 26 WED 豊橋演劇鑑賞会第241回例会 前進座公演『あなまどい』 PLAT主ホール
- 29 SAT - 30 SUN 劇団しゅらざ しゅらざの大正浪漫悲劇『ロミオとジュリエット』 PLATアートスペース
- 30 SUN 茶道裏千家公開講座 PLAT主ホール

4 APRIL

- 2 WED 宗偏吉田流和有茶会 臨濟寺
- 5 SAT 小曽根真コンサート it's OZONE TIME ～クラシック×ジャズ2つの顔～ PLAT主ホール
- 6 SUN うれしい音楽の会 PLATアートスペース
春の市民大茶会〔前期〕 豊橋市民文化会館
- 11 FRI 第720回 邦楽鑑賞会 豊橋市民文化会館
- 12 SAT プリマベラ コンサート PLATアートスペース
- 19 SAT ～いつもココロに音楽を～ ヴァイオリン・ピアノコンサート PLATアートスペース
- 20 SUN 立川志の輔独演会 PLAT主ホール
ハーモニーグリーン第6回演奏会 フロイデンホール
表千家大原社中茶会 三の丸会館
- 25 FRI はるらんまん松川美樹・八神舞子歌謡コンサート PLATアートスペース
- 26 SAT 勉強会 吟剣詩舞研究会 PLATアートスペース
- 26 SAT - 27 SUN 豊橋総合いけばな展 豊橋市民文化会館
- 27 SUN 時習館高等学校吹奏楽部定期演奏会 PLAT主ホール
一般社団法人倫理研究所 家庭倫理の会豊橋市 PLATアートスペース
春の市民大茶会〔後期〕 豊橋市民文化会館

企画・発行＝公益財団法人豊橋文化振興財団

編集＝森 絹江

デザイン＝松吉太郎デザイン事務所

写真〔表紙〕＝谷古宇正彦

平成26年2月 発行6号〔隔月発行〕

穂の国とよはし芸術劇場

TOYOHASHI ARTS THEATRE

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

Tel 0532(39)8810〔代表〕 <http://toyohashi-at.jp>